事業所名　放課後等デイサービス　ちょあ平塚

支援プログラム

作成日　令和6 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの気持ちや特性を受け止め、安心して過ごせる環境の中で、「できた」「やってみたい」という経験を積み重ね、自分らしく成長できる支援を大切にします。			
支援方針		受容的な関わりを基盤に、本人の発達段階や特性、興味・関心に応じて個別支援と集団・小集団活動を組み合わせます。5領域を相互に関連づけながら、生活力・コミュニケーション・社会性・身体機能等の成長を支援し、家庭・学校・関係機関と連携して一貫した支援を行います。			
営業時間		10 時　0 分から　19 時　0 分まで		送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	生活リズムや身辺自立を整え、安心して活動できる力を育みます。手洗い・排泄・食事・着替え・荷物整理等の日常生活動作を、個々の発達段階に応じて練習します。絵カードやスケジュール等を活用し、見通しを持って行動できるよう支援します。			
	運動・感覚	DIDIM、散歩、公園活動、運動遊び等を通して、走る・跳ぶ・バランスを取る等の基本的な身体の使い方を育みます。制作や個別課題では、はさみ・箸・書字・塗り絵等を取り入れ、手指の巧緻性や目と手の協応を高めます。感覚特性にも配慮し、安心して活動に参加できる環境を整えます。			
	認知・行動	個別課題や制作、DIDIM等を通して、数・文字・形・色・時間等の概念理解を促します。視覚支援や手順の提示により、活動の見通しやルールを理解し、自分で行動する力を育みます。こだわりや気持ちの切り替えが難しい場面では、選択肢や代替行動を示しながら柔軟な行動につなげます。			
	言語 コミュニケーション	PECSや絵カード、ジェスチャー、発声・言葉等、本人に合った方法で「伝わる」経験を積み重ねます。要求・拒否・気持ち・困りごと等を適切に表現できるよう支援します。読み書きや語彙、会話のやり取りにも取り組み、相手に伝える・相手の話を聞く力を育みます。			
	人間関係 社会性	集団活動、小集団活動、SST、自由遊び等を通して、順番を待つ・貸し借り・誘う・断る・協力する等の社会的な経験を重ねます。職員が必要に応じて仲介し、他児との関わり方や適切な距離感を学べるよう支援します。成功体験を積み、自信や自己肯定感につなげます。			
家族支援		保護者との日々の情報共有や面談を通して、家庭での困りごとや成長を共有します。子どもの行動の背景や気持ちを一緒に考え、家庭でも取り入れやすい関わり方や環境調整を提案します。		移行支援	学校・進級・進学等の生活環境の変化を見据え、本人が安心して新しい環境へ移行できるよう支援します。必要に応じて学校等と情報共有を行い、支援方法の共通理解を図ります。
地域支援・地域連携		学校、相談支援事業所、医療・福祉等の関係機関と必要な情報を共有し、地域の中で一貫した支援が受けられるよう連携します。		職員の質の向上	虐待防止・身体拘束適正化、発達障害、強度行動障害、ABA、TEACCH、PECS、SST等に関する研修や事例検討を行い、支援の質と専門性の向上に努めます。
主な行事等		季節行事、制作、買い物学習、外食体験、地域清掃、公共施設・社会資源の見学、公園活動、散歩、長期休暇中の外出活動等を実施し、楽しみながら生活経験や社会参加の機会を広げます。			